

# あぶしん景況レポート

## 2023年4～6月期



あぶくま信用金庫  
総合企画部

Vol.12 2023.7発行

### 当地区の概況

【業種別天気図】

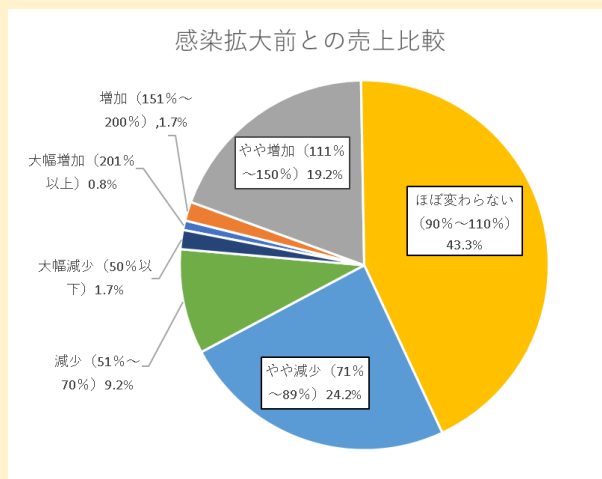
調査対象:120社

業種別	総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
2023年 1～3月								▲ 19.2
2023年 4～6月								▲ 16.7
2023年 7～9月 (見通し)								▲ 10.8

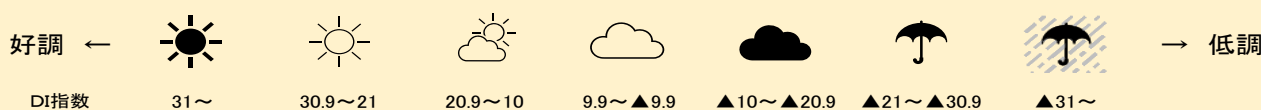
- 2023年4～6月期(今期)の業況判断D.I.は▲16.7と、前期比2.5ポイントの改善となった。業種別にみると、卸売業は前期比33.4ポイントの大幅改善となった。
- 2023年7～9月期(来期)の予想業況判断D.I.は▲10.8と、今期実績比5.9ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、卸売業・不動産業を除く4業種で改善の見通しとなっている。

### 特別調査 - アフターコロナと中小企業 -

- 賃上げおよび一時支給金の実施状況において、賃上げについては55.8%が実施、一時金については28.3%が実施となった。
- 新型コロナウイルス感染拡大前(およそ3年前)と比較した現在の売上については「ほぼ変わらない(90～110%)」が43.3%と最も多くなった。



【業況判断天気図】



業況判断D.I指数は「良い・やや良い」と回答した割合から「悪い・やや悪い」と回答した割合を差し引いて算出した数値です。

詳しくはくあぶしん>  
各支店へ!



携帯・スマートフォンの方はQRコードを!  
情報満載、ホームページをご覧ください。

あぶしん <http://www.abukuma.co.jp/>



## 製造業

### 業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	5.0	20.0	35.0	35.0	5.0	▲ 15.0
	実績	5.0	20.0	35.0	35.0	5.0	▲ 15.0
来期 (7-9月)	予想	5.0	30.0	25.0	35.0	5.0	▲ 5.0

今期の業況判断 D. I. は、前期(実績)より 5.0 ポイント改善し▲15.0 となった。来期(予想)D. I. は 10.0 ポイント改善の▲5.0 となった。売上増加の声もあったが、人材不足や原材料価格高騰などの懸念材料は依然として多い。

### ○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 原材料高	70.0%	60.0%
2 売上の停滞・減少	40.0%	50.0%
3 利幅の縮小	30.0%	25.0%

### ○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	55.0%	60.0%
2 経費を節減する	45.0%	40.0%
3 人材を確保する	30.0%	40.0%
3 提携先を見つける	30.0%	15.0%

## 卸売業

### 業況判断D. I.

調査対象：18社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	5.6	50.0	44.4	0.0	▲ 38.9
	実績	0.0	16.6	72.2	5.5	5.5	5.6
来期 (7-9月)	予想	0.0	11.7	58.8	23.5	5.8	▲ 17.6

今期の業況判断 D. I. は、前期(実績)より 33.4 ポイント大幅改善し 5.6 となったが、来期(予想) D. I は▲17.6 ポイントと 23.2 ポイントの悪化となった。売上の停滞や仕入価格の上昇による利幅の縮小が課題として挙げられている。

### ○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	50.0%	55.6%
2 利幅の縮小	44.4%	50.0%
3 同業者間の競争の激化	33.3%	22.2%
3 人手不足	33.3%	16.7%

### ○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 販路を広げる	61.1%	61.1%
2 経費を節減する	50.0%	50.0%
3 情報力を強化する	38.9%	27.8%

## 小売業

### 業況判断D. I.

調査対象：21社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	4.8	52.4	38.1	4.8	▲ 38.1
	実績	4.7	9.5	52.3	28.5	4.7	▲ 19.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	19.0	57.1	23.8	0.0	▲ 4.8

今期の業況判断 D. I. は前期(実績)と同様の▲19.0 だった。販売価格引上げ等の背景により、来期(予想) D. I は 14.2 ポイントの改善の見込みとなった。

### ○経営課題

(複数回答)

項目	今期	前期
1 売上の停滞・減少	38.1%	47.6%
2 人手不足	33.3%	38.1%
3 利幅の縮小	28.6%	28.6%
3 同業者間の競争の激化	28.6%	14.3%

### ○重点経営施策

(複数回答)

項目	今期	前期
1 経費を節減する	38.1%	66.7%
2 人材を確保する	33.3%	42.9%
3 品揃えを改善する	28.6%	9.5%

## サービス業

### 業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	5.0	60.0	25.0	10.0	▲ 30.0
	実績	0.0	25.0	40.0	30.0	5.0	▲ 10.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	25.0	55.0	20.0	0.0	5.0

業況判断D. I. は前期（実績）より10.0ポイント改善し、▲10.0となった。新型コロナウイルスの5類化により、売上の回復が見込まれ、来期（予想）D. I. は大幅改善の見通しとなった。

### ○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	50.0%	45.0%
2	材料価格の上昇	40.0%	50.0%
2	同業者間の競争の激化	40.0%	25.0%

### ○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	45.0%	45.0%
2	経費を節減する	35.0%	50.0%
2	販路を広げる	35.0%	40.0%

## 建設業

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	4.8	14.3	28.6	52.4	0.0	▲ 33.3
	実績	0.0	9.5	38.0	47.6	4.7	▲ 42.8
来期 (7-9月)	予想	0.0	19.0	33.3	42.8	4.7	▲ 28.6

今期の業況判断D. I. は、調査開始以来最低の▲42.8となった。原材料価格の高騰や電力・エネルギー価格上昇分の価格転嫁ができておらず、利幅が縮小していることが一因。

### ○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	42.9%	57.1%
1	人手不足	42.9%	47.6%
3	材料価格の上昇	33.3%	42.9%
3	利幅の縮小	33.3%	28.6%

### ○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	人材を確保する	66.7%	57.1%
2	販路を広げる	42.9%	42.9%
3	経費を節減する	38.1%	47.6%
3	技術力を高める	38.1%	38.1%

## 不動産業

### 業況判断D. I.

調査対象：20社

		良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	D. I.
今期 (4-6月)	予想	0.0	0.0	85.0	15.0	0.0	▲ 15.0
	実績	0.0	0.0	85.0	15.0	0.0	▲ 15.0
来期 (7-9月)	予想	0.0	0.0	85.0	15.0	0.0	▲ 15.0

今期の業況判断D. I. は、前期（実績）と変わらず▲15.0となった。不動産売買件数は少なくなっているとの声があったが、他業種と比べ、経営課題を問題なしと回答する企業が多い。

### ○経営課題

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	売上の停滞・減少	40.0%	35.0%
2	同業者間の競争の激化	35.0%	45.0%

### ○重点経営施策

（複数回答）

	項目	今期	前期
1	経費を節減する	35.0%	35.0%
2	情報力を強化する	25.0%	35.0%
2	販路を広げる	25.0%	20.0%

## 全国の概況

【全国業種別天気図】

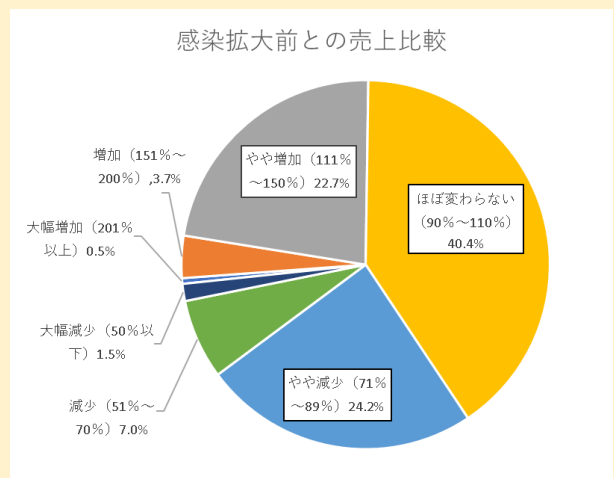
回答社数：13,696社

		総合	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	総合 D.I.
全国	2023年 1～3月								▲ 13.9
	2023年 4～6月								▲ 7.4
	2023年 7～9月 (見通し)								▲ 5.6
東北	2023年 4～6月								▲ 19.1

- 全国の2023年4～6月期（今期）の業況判断D.Iは▲7.4、前期比6.5ポイント改善とコロナ前の水準を回復した。2023年7～9月期（来期）の予想業況判断D.Iは▲5.6と、今期実績比1.8ポイントの改善を見込んでいる。
- 東北地区の2023年4～6月期（今期）の業況判断D.Iは▲19.1と、前期比5.0ポイント改善した。2023年7～9月期（来期）の予想業況判断D.Iは▲17.5と、小幅の改善を見込んでいる。

## 特別調査 - アフターコロナと中小企業 -

- 賃上げおよび一時支給金の実施状況において、賃上げについては44.4%が実施、一時金については21.5%が実施となった。従業員規模別にみると、大きな企業ほど賃上げ実施や一時金支給の比率が高い傾向にあった。
- 新型コロナウイルス感染拡大前（およそ3年前）と比較した現在の売上については「ほぼ変わらない（90～110%）」が40.4%と最も多くなった。「減少（51～70%）」は7.0%、「大幅減少（50%以下）」は1.5%にそれぞれとどまっている。



### 全国の調査員からのコメント

- M&Aを通じて営業エリアの拡大を目指している。（石油製品、LPガス小売 北海道）
- 原材料価格高騰分はある程度価格転嫁できているが、電力、エネルギー価格の高騰は全く価格転嫁できていない。（生麺製造 青森県）

### 【調査要領】

1. 調査時期 2023年6月
2. 調査方法 原則として、全国の信用金庫営業店の調査員による面接聴取りによる感触調査
3. 分析方法 業況判断D.I.は、「良い・やや良い」とした企業が全体に占める割合と、「悪い・やや悪い」とした企業の割合との差(判断D.I.)を中心にして分析を行った。
4. 対象企業 回答企業のうち従業員20人未満の企業が約7割を占めるなど、比較的小規模な企業が主体となっている。

本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。したがって、投資等についてはご自身の判断によってください。また、本レポート掲載資料は、信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。